

学生団体いきものずかんの活動について

井口菜穂・黒岩丈竜・十都祐真・八木千緩・井上蓮・勝間奏太
(兵庫県立大学 学生団体いきものずかん)

はじめに

私たち学生団体いきものずかんは、将来の自然環境を守る担い手を増やしていくために、子どもたちが自然環境に興味を持ち、自然を好きになるきっかけを作ることを目的として、環境教育を行う団体である。小さな子どもが、楽しみながら、環境について学ぶことができるよう、紙芝居や塗り絵、折紙、クイズ等を用いながら、環境教育を行っている。また、コロナ禍でも、密にならず行うことが出来る活動として、海岸清掃も、昨年度から開始した。

青空紙芝居

姫路城の前にある家老屋敷跡公園で、春頃に、紙芝居の読み聞かせの活動を行っている。公園で遊んでいる子どもに集ってもらい、紙芝居の読み聞かせを行う。この活動は、密になりやすいため、コロナ禍では、活動を行っていない。

児童館での活動

夏休みには、児童館を訪れて、子どもに、紙芝居の読み聞かせやクイズを行っている。今年度は、いきものずかんが制作した紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」を、児童館で披露した。



写真1 児童館での環境教育の様子



写真2 紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」

海岸清掃

コロナ禍でも、密にならずに出来る活動として、昨年度から、姫路市の白浜海岸で清掃を行っている。この活動から学んだことを、子どもに伝えることが出来るよう、これからも学びを深めていきたい。



写真3 海岸清掃の様子

環境問題を解決するために

いきものずかんが行う活動は、少しでも環境問題に興味を持つ子どもを増やすことが目的であり、それが、環境問題解決へとつながれば良いと考えている。まずは、私たちが環境についての理解を深め、それを子どもに、分かりやすく伝えることが出来るよう、支えて下さる方々に、感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張りたい。